石川県スポーツトレーナー連絡協議会
令和４年度 第11回理事会 議事録

日　時：令和５年３月28日（火）　20時～21時10分
会　場：オンライン会議
出席者：北岡克彦、西尾眞友、常盤和成、田中良和、宮川巌幸、守山成則、定池 寿、
西川典孝、俵 大輔、吉本真樹、村松僚太、
－11名－（会長、副会長、理事９名）

【議　題】

報告事項　１；第10回理事会議事録

田中理事（総務部長）より、令和４年度10回理事会議事録がメールにて送付済みと報告。

報告事項　２；会計報告

宮川理事（会計）より3月期の資料に沿って報告。日赤救急法講習についての受講料金は田中理事が持っているため次回収支に計上。

報告事項　３；日赤救急法講習について

田中理事より報告。3月19日（日）木島病院会議室にて開催。10名が参加。新しい知見もあり内容も濃い基礎講習であった。認定証は今週中に送付される予定。その時に受講に関わる請求書も送付とのこと。

守山理事より、久しぶりの対面での講習は楽しかった。

協議事項　１；令和４年度総会・講習会について

（総会・講習会出席者数）西川理事より報告。現地参加19名、WEB参加５名で出席24名、欠席（委任）11名で合計35名。会員数49名、認定継続単位希望者17名（必要なし７名）。認定継続料については現地支払いにも対応。

（スケジュール）田中理事より説明。集合は９時30分。WEB機材の準備はもう少し早めに会議室に入り準備。俵理事（学術部長）のPCも拝借。

（講師との懇親会）田中理事より説明。講師の枝元先生も懇親会へ参加したいとのこと。出席できる役員は出席。宮川理事より弁当代は一人1000円以内＋領収証。守山理事が弁当を担当し、ウーバーイーツを考えていると提案。木島病院もウーバー問題ないということ。弁当の個数は講師＋出席役員（常盤理事長は午後から所用のためキャンセル）。

（令和４年度事業報告・決算、令和５年度計画案・予算案等）田中理事より令和５年度事業計画案について資料に沿って説明。2 のスキルアップセミナーや研修会の開催の文章に講演会と充実という言葉を入れ前回理事会の意見を反映。4 の各大会、競技会へのスポーツトレーナー活動の輪島競歩大会はトレーナーブース今年もなしということで削除。

引き続き令和４年度事業報告について資料に沿って説明。第11回理事会の人数を追加、金

沢マラソンの認定単位数と第 6 救護所救護所の利用者、医療ワーキンググループ会議日程を補足して完成。

令和 4 年度事業報告ならびに令和 5 年度事業計画案が承認。

宮川理事より令和 5 年度事業計画案について資料に沿って説明。

定池理事より、研修会を活発に行うということであれば支出の講師謝礼の 8 万円では外部講師を招いての研修会は多くできないのではないか。内容や講師が充実しなければ研修会参加者も増えないのではないか。

宮川理事より講師謝礼を 15 万円に修正すると説明。

引き続き、宮川理事より令和 4 年度決算報告について資料に沿って説明。月末まで細かい修正点と加算があるが大凡、このような決算。

田中理事より本年度講演会に準会員とスポーツナース各 1 名が参加。柔整師会は案内が少し遅くなるということでギリギリに申込みの場合があることを考慮して欲しい。

宮川理事より決算については 3 月 31 日時点でしめ出来上がったものを役員へ送付する。

令和 4 年度決算ならびに令和 5 年度予算案は承認。

協議事項　2；AT 推薦者の条件等の規程について

田中理事より資料に沿って説明。前回理事会の協議内容を受けて規程を 3 項目追加。

特に大きな修正はなく、最後の文言の字句修正を行うことで承認。

総会では田中理事が作成主旨や経緯を説明し、追加があれば AT の役員が発言するということとなった。

協議事項　3；いしかわスポーツ医科学サポート事業について

常盤理事長より資料に沿って説明。石川県スポーツ振興課の 2 名から説明を受けた。県では上記事業を立ち上げる予定なので本会に協力して欲しいとの依頼。国も推進している事業で、本県も馳知事になったことでスポーツ事業に力を入れる。石川県だけではなく北信越地区を見据えた体制を考えている。国の予算は通ると思うが、もし通らなかった場合でも、県としてこのような体制づくりを進めていきたいとの話。特に、現場のニーズとして競技団体より万全の状態で試合に臨むためのコンデイショニングに力を入れたいという要望が多くあり、その部分を本会に担っていただければとの説明だった。

北岡会長より補足。一朝一夕ではできないので来年度は組織作りを行い軌道に乗せようとする方針。

常盤理事長より、北陸 3 県は石川県が中心になってすすめたいという知事の意向がある、また、現在、いしかわ総合スポーツセンターでは国体選手 70～80 名程度に対応しているが、今後は、ジュニア、障害者スポーツ選手を含め 160～180 名のアスリートに対応していく予定であるので本会の力を貸して欲しいとのことであった。

北岡会長より、スポセンの花岡先生がコーディネーターとなり、以前、IST 講習会でお世話になった黒島先生が東京もハイパフォーマンスセンターへ 1 年間研修へ行く計画。

常盤理事長より、このようなプロジェクトに声がかかるのは本会の長年の活動の成果。今後もより事業を活発にしていきたい。総会の時に会員にも説明し、本会入会のメリットの一つとして話したい。

協議事項　4；その他について

・岩﨑亮太氏の準会員登録

田中理事より、上記準会員登録票を提示して説明。承認。

・金沢マラソントレーナー活動についての紹介

西尾副会長より、本会が行っているトレーナー活動の実際について問い合せたいという方がいる場合、どなたに連絡すれば良いか。

守山トレーナー部長とのこと。

西尾副会長より、明日、それに関連する会議があるかもしれないので連絡先を教えて欲しいとの話があった。

・スポーツナースのトレーナーブース参加について

守山理事より、スポーツナースと話をする機会があり、本会で行っている北國カップなどのトレーナーブースへの参加を聞いたところ参加してみたいとの話であった。今後、このような連携を行っていけば意識の共有にもなるし、収入にもなるかと考える。このような連携はできそうか、また、有りだと思うか。

北岡会長より、いいとは思う。トレーナーと救護なので活動する目的や内容は違うが連携していければより良いかもしれない。基本、スポーツナースは活動に対する報酬がある。その部分がクリアできれば大丈夫ではないかと話があった。

守山理事より、本会会員に参加を促す形を同じ形でスポーツナースも参加していただくところから始めることができればと考えている。

協議事項は全て終了。令和 5 年度第 1 回理事会を令和 5 年 5 月 16 日（火）と決定。令和 4 年度第 11 回理事会は終了。

（議事録作成：田中良和〈総務部〉）